



関節リウマチ

人生100年



リウマチ科部長

鳥養 栄治
とりかい えいじ

ほんの20年前まで関節リウマチに罹^り患^{かん}した方の平均寿命は、一般の方より10年短いとされてきました。

関節リウマチは、関節局所だけでなく全身臓器への炎症などにより、生命予^{せいめいよ}後^ごを著しく悪化させる病気で、これまで効果のある薬剤がありませんでした。しかし、生物学的製剤をはじめとする、いわゆる「よく効く薬の開発」と「治療戦略の確立」により、関節リウマチ治療は劇的に改善し、平均寿命も一般の方とあまり変わらなくなっています。一方で、免疫を抑える薬剤を使用する場合は、感染予防の生活指導や定期的な血液検査を行うなど、その管理も厳重にしなければなりません。一見、患者さんにかかる負担が大きい疾患^{しん}と思われがちですが、逆に言う、長生きのための情報の収集、全身状態のチェックを定期的に行っていることになり、関節リウマチ治療の通院自体

が「長生きの秘訣」とも言えるわけ
です。

私の外来では、患者さんに「一般の方と変わらない生活を送り、天寿を全うしましょう」と言い続けています。関節リウマチに限らず、医療の進歩が目覚ましいのは周知のとおりで、人生100年となるのも間近とも言われています。当院リウマチ科のスタッフ（医師、看護師、看護助手、リハビリスタッフ、検査技師など）は、チーム一丸となって薬物治療、手術治療、リハビリテーション、体と心のケアにあたっています。合言葉は、「リウマチ外来に通院されている患者さんが不自由なく日常生活を送り、人生100年を全うできるようなサポートしていくこと」であり、それも実現可能と考えています。

一緒に関節リウマチを克服しましょう。

こちら

「患者相談支援室」です

（市立総合病院 患者相談支援室）

（東館2階65番）

TEL 0538-3815000（代表）
FAX 0538-3815050



市立総合病院には、患者さんやそのご家族が抱える悩みの相談を受ける窓口があります。病気に関することや社会保障制度の利用のこと、療養生活での不安などあらゆる相談に専門知識を持ったスタッフが対応しています。

◆医療相談

からだの不調やさまざまな症状での不安や悩み事について

◆医療福祉相談

介護や在宅療養に関する制度のこと

◆肝疾患相談

治療や療養にかかる経済的なこと
・肝臓病、B型・C型肝炎ウイルスの検査や治療費に関すること

◆認知症相談

認知症と加齢による物忘れの違いについて

◆がん相談

がんに関する不安や悩みについて
・治療に関する情報などについて

◆よろず相談

病院へのご意見やご要望について

これ以外にも、病氣療養中の休職や退職に伴う社会保障に関する『お仕事年金相談』や長期療養しながら働きたいという方への『就労支援相談』などにも対応しています。

患者相談支援室では、プライバシーに配慮しながら相談内容に応じて適切な部署や職種と連携を図り、抱える不安を少しでも解消できるように努めています。

ご相談は無料です。平日8時15分～17時、電話または直接窓口へお越しください。専門知識を持つスタッフが対応させていただきます。



▲患者相談支援室のスタッフ